

三島市議会の議員定数のあり方に関する市民意見聴取結果

- ・ 33件のご意見をいただきました。
- ・ 参考までに、内容を区分させていただくと以下のとおりです。
 現状維持：16件　1名減員：2件　2名減員：4件　3名減員：1件
 4名減員：1件　減員（人数明記なし）：4件　その他：5件
- ・ 個別の意見の内容は、以下のとおりです。（内容区分別・順不同）

No.	意見	区分
1	現在の人数から減少の必要は無いと思います。人口数も当選のボーダーラインの得票数的にも新人の方も挑戦が出来るので、現状が良いと考えます。	現状維持
2	人口比率から考えてみても現在の定数が妥当である。と考えます。よって現状維持が適当と考えます。	現状維持
3	今の人口状況なら減らす必要が無いと思う。また、議員の一人ひとりに負担がかかるなら、増やすことも検討したほうが良いと思います。	現状維持
4	三島市の人口約11万人に対して、法律の定める議員定数の上限は34人である。現在の22人は適正だと思われる。また、安易に議員定数を減らすと、固定票を持つ政党が議会において相対的に有利になる危惧もある。議員数を減らす議論は人口10万人を切った時など明確な基準を作ることは賛成である。また、市の歳入によっては議員報酬の減額を議論しても良いか考える。	現状維持
5	現状のままでよいと思います。	現状維持
6	現状維持が望ましいと思います。そもそも大幅減少していませんし、人口減少によって単純にやるべきことが減る訳ではないと思います。22人議員の役割はそれぞれ違うと思いますが、議員一人ひとりの労力負担が出来るだけ均等になるような検討して頂けたらと思います。	現状維持
7	議員の皆さんに協議・対応していただく必要がある事が、昔と比べて増えているのではないかと。人口は減っていますが、まだ現状維持でいいのではないのでしょうか？	現状維持
8	まずは現状維持で、市民からの意見を聞き入れる体制、活発な議会運営の継続を望みます。	現状維持
9	今のところ「現状維持に賛成」です。ただし、現状のままを是とはせず、「議会運営の効率化」「議員の質向上」を併せて求めます。削減して各人が110%の力を出し続けるということは一見理想的ではありますが、その状態を維持するのは無理があると感じます。まずは、各人が知見を深め、効率化を図り、行きつく先に初めて削減の可能性がある見出せるのではないのでしょうか。人口は減っていますが、今まで以上に多様な課題があることも事実であり、暮らしやすい三島を維持できるか、検証・検討を重ねて欲しいと思います。	現状維持
10	三島市は、まだまだ発展途上と言える。最近進歩を遂げ、観光客等を増加し町の活性化が進んでいる熱海と比較すると新幹線が停止する条件および伊豆、修善寺への交通手段として三島市としての売り込み、これからの発展に向けてまだ発展できる街である。熱海と異なるところは、三島は温泉、宿泊施設が少ないと言う点。ただし、東京から新幹線で1時間と言う点で日帰り旅行が楽しめる街としてもっと売り出すことが出来ると思う。水のきれいな街、富士山、カフェ、バー、伊豆箱根鉄道など1日でもいっぱい楽しめる事をPR出来ると思う。ただ、交通手段、道の整備はまだまだ不十分と言える。そのために今の時点が議員定数の削減の時期ではないと考える。議員削減により議員費用削減になることが一見費用削減の効果に見えるかもしれないが、定数削減に伴い、1人あたりの担当する業務が増えることにより目の前の課題に取り組む事だけになれば発展的な課題に取り組めない残念な状況に陥る。かねてから三島に在住する人の満足度を高めるそして、新規三島移住者の増加、観光客の増加により資金を増やすための取り組みは議員の活動でしかできない。よって、現時点での議員削減は逆効果であり、街の発展を止めることにつながりため特策ではないと考える。これからの三島市の発展に期待したい。	現状維持
11	人口は減っていますが、議員さんを減らすほどではないと思います。その代わりに、今まで以上に頑張ってください。特に、子育て支援をお願いします。ただ、10万人くらいまで減った時には、見直しも必要かも知れません。	現状維持
12	今のところは現状の22名でよいと思います。三島市は人口減少傾向といっても、それに伴って議員の仕事の内容は変わらない。定数削減は情報収集量が減るなどのデメリットという理由で望ましくないのではないのでしょうか？	現状維持

No.	意見	区分
13	多くの市民の意見反映や行政監視機能維持・強化の為に現状定数の確保が必要であると考えます。	現状維持
14	<p>初めに結論から申し上げます。私の意見は「議員定数は現状維持とすべき」と考えます。</p> <p>その理由は、二元代表制の下で有権者の直接選挙によって選出される議員によって構成される市議会の重要な役割と任務に照らし、すなわち住民代表としての「住民意思の反映機能」及び執行機関に対する「批判監視機能」が低下することが心配される（野村稔氏・元全国都道府県議長会調査部長）からであります。</p> <p>野村稔氏は「執行機関をチェックする者がいなければ、地域の均衡ある適正な行政、能率的な行政、住民の要望に即応した行政を確保できない」「議会の批判監視機能の低下は、最終的には住民自身がマイナスの被害を受ける」と指摘しながら、「残念ながら住民意思の反映は数量化できないので、マイナスを量的に又は金額で表示できない。この反面、議会は減少した議員数でも運営できるから、弊害が生じないような印象を議員や住民に与えている。議員が減れば批判監視機能が確実に低下するの、それが表面化していないだけである。」と、議員定数の削減に反対されています。（地方議会への26の処方箋より）</p> <p>更に、市議会議員の皆さんをはじめ議会事務局職員のご尽力で、「三島市議会における議員定数のあり方の検討【市民意見聴取用資料】」が作成されました。</p> <p>大変興味深く拝見致しましたが、とりわけ6頁の「5議員定数のあり方の検討に当たっての参考データ」は私の意見をまとめる上で非常に役に立ちました。</p> <p>特に、5（1）の県内各市の人口、議員定数の比較および（2）の各市の議員定数及び標準財政規模の比較から言えることは、（1）においては県下23市中10位とほぼ中間にあり、（2）においても23市中11位と妥当な水準にあることが窺えます。</p> <p>こうした点から私なりに導き出した結論として、三島市議会の議員定数は現行の22名で「多過ぎることはなく、少な過ぎることもない」というものです。</p> <p>市議会議員の皆さんにおかれましては、こうした当市の現状を堂々と胸を張って市民に訴え、議員定数の削減に走らないよう切望するところであります。</p>	現状維持
15	<p>削減反対です。地方議員ですので、幅広く市民の意見を汲むためにはある程度の人数は必要です。これを絞り込むと特定の団体代表議員ばかりとなります。特定宗教、労働組合、偏向団体などの議員ばかりになります。利益代表ですから、市民のささやかな願いは無視されます！自分たちの利益にかなわぬことには妥協しません。議会はますますまとまりません！議会改革といってもスローガンだけで中身はいつも示されません。怠慢極まりないです！身を切る改革といいますが、定数削減のどこが身を切るのですか？まるでわかりません。単なるパフォーマンスにしか見えません。たいてい上位当選者が言い出しますね。議員報酬を削減したほうがよっぽど身を切る改革として見えますよ！議員歳費を民間で稼ぐのは大変ですよ。そのへんもわからないんでしょうね。それから働かない議員がいるなどとおっしゃいますが、それを審判するのは有権者です！議員が他の議員をさして働かないなど上から目線も甚だしい。不愉快です。いずれにしても市会議員です、国政県政のような大きな仕事はできません。身近なささやかな仕事をしてほしいです。最近農業に関心のある議員がいません！残念です。結論、議員削減反対。議員歳費削減賛成です。歳費削減は議員さんは誰も言わないでしょう！悲しい話です。</p>	現状維持
16	<p>現状維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の質を高めることと定数削減は別問題である。 ・議員一人当たりの市民数は、平成11年と比較して増加している。 ・議会のスリム化といわれるが、民意を反映する役割を持つ行政側のスリム化と同列視すべきではない。 ・市民ニーズの多様化、課題も複雑化していることから、それに対応する議員数が必要である。 	現状維持

No.	意見	区分
17	<p>議員定数＝選挙直近の市内人口÷5000人（小数点以下切り捨て）で算出する。この公式を規定化すれば、議論する必要がなく、自動的（機械的）に定数見直しが可能となる。</p> <p>又、5,000人当たり議員定数1名が不適切な状況になったら、5000人を見直せば良い。</p> <p>（例）6/30現在107,793人÷5,000人＝21.5586→21名に見直し 現在22名を21名に（1名）削減する。 市内人口が105,000人を下回った時に「削減見直し」となり、110,000人以上になった時に「増加見直し」となる。</p>	1名削減
18	<p>平成25年6月1日の人口は112,732人 令和4年6月1日の人口は107,835人 $107,835/112,732 \times 22人 = 21.04人$ 定数21人にすべきと思います。</p>	1名削減
19	<p>2名削減してよいと思う。</p> <p>「現状維持の立場」の意見のうち、以下の内容は、現状維持の理由になっていないのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正大学の江藤俊昭教授によると、委員会活動を活性化させるためには各常任委員会に7人は必要である。 ・元全国都道府県議会議長会野村稔氏、自治体議会政策学会竹下譲氏、大正大学江藤俊昭教授など、有識者は定数削減に否定的である。 <p>→それぞれ根拠の一例として示しているのだと思うが、相反する説もあるのであるのでは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の質を高めることと、定数の削減は別の問題である。 <p>→議員の質を高めるための取り組みを、これまでどう行ってきたのか示していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を踏まえた議員定数のあり方については、改選後に検討すべきである。 <p>→なぜ？今の議員が責任を持って議論し決めればよいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民意を反映する役割を持つ議会のスリム化と、行政のスリム化を同列視すべきではない。 <p>→なぜ？行政サービスの低下や、市職員が臨時職員ばかりといった課題がある中、行政はスリム化しろと言いながら、自分たちの立場は守りたいように見える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会における多様性を確保するために、女性や若年者等が議会に参画するための環境整備が求められており、定数削減は候補者の偏在等につながるのでは、すべきではない。 <p>→既に選ばれた立場にいる議員ひとりひとりが、多様性について学ぶことが重要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3委員会×7名＝21名では奇数となり、可否同数の場合、議長裁決となるので、1名プラスして22名（現状維持）が妥当である。 <p>→奇数にしたくないのであれば、2名減にすればよいのでは。</p>	2名削減

No.	意見	区分
20	<p>2名減。</p> <p>日本共産党議員団の意見に、「議員の質を高めることと定数削減は別問題である。」とあるんですが、別問題でしょうか？</p> <p>議員の質は低いかもしれないけど、それは置いて、定数は減らさない???</p> <p>共産党の議員の方々は、常に党の方針に従って質問をされている印象がありますが、日本共産党として、この意見なのでしょうか？</p> <p>理解できません。</p> <p>また、「議会のスリム化といわれるが、民意を反映する役割を持つ議会が行政側のスリム化と同列視すべきではない。」「市民ニーズの多様化、課題も複雑化していることから、それに対応する議員数が必要である。」とのことですが、議員を1人でも2人でも減らして、その分行政サービスに充てた方がいいと思います。</p> <p>「議会」と「行政」を入れ替えて、「議員」を「市職員（正規雇用）」と読み替えてみてください。</p> <p>「行政のスリム化といわれるが、公共の福祉を担う行政が議会側のスリム化と同列視されるべきではない。」</p> <p>「市民ニーズの多様化、課題も複雑化していることから、それに対応する市職員（正規雇用）数が必要である。」</p> <p>いかがでしょうか？</p>	2名削減
21	1割削減して20人が適正だと思います。	2名削減
22	減らすべき。半分でもいいと思うが2名減らすべき。給料高すぎる。いつも全員どうでもいい同じ質疑ばかりで腹が立つ。お金もらって何もしてない。利権アサリの政治家の末端でしかない。無関心で利権のおこぼれを議員に求めるだけの我々市民有権者が1番悪い。参考資料はそれなりだった。	2名削減
23	現在の定数22名を19名に変更意見です。手当についても検討願います。定数を減らしても総額が変わらなければ意味がない為、市議の手当も財政難につき減額を検討願いたい。	3名削減
24	人口に合わせて議員の人数を減らし、議員の活動費を含めた報酬を圧縮していただきたい。あと4席減らし18名で、良いのではないのでしょうか。2人減らしても、4年後に人口が急に増えるわけではなく、市の財政としても蓄えが豊富にあるわけでもない。公明党の議員が3名もいるので、多様性に対応するのならば、同じ党からの選出人数について、上限を設けても良いとおもう。市議会の定員を減らして、市民の代わりに、市議会議員が役割を果たしているか真剣に考える必要があるとおもいます。	4名削減
25	議員数を減らすなら、1議員の質を今以上に上げる必要があるのではないかと。議員1人1人の質を上げるための取組みはどのように考えているのか。企業も業績が厳しい時に費用削減だけを目的として要員削減は企業力が低下している。質を高めた結果、現行要員以下でも現行もしくは現行以上の成果が出せるなら定員数の削減には賛成です。	削減
26	三島市内にいる多くの町内会長さん、副会長さんや役員の皆様はほとんど無給で町内のために頑張っています。市議会議員の皆様も頑張っておられると思うのですが町内会長さんたちほどその頑張りが伝わってきません。議員の皆様は定員は減らして、町内会長さんたちがもっと目立つ活躍ができるようにして（議員の代わりに）報酬などももらえる様になったら良いかなと思います。	削減
27	今年、議員さんにタブレットが配布されたようですね。タブレットを配布するメリットは報告書によると「議会でのより活発な議論につながる事」、「様々な場面で市民に対してもよりわかりやすく正確な説明が可能になる」との事ですから、議員さんを減らしても問題はないと思います。世の中がコロナ禍で苦しんでいるのに、自分たちには税金を使って任期が1年しか残っていない時期にタブレットを導入した訳は議員さんを減らすためだと思っています。傍聴時に私たちにはマスクの着用を求めておきながら、マスクを顎に掛けている議員さんは、タブレット導入を決めた委員長さんなのですから、議員の削減に反対するわけないですよね。また、「事業効果の検証は？」と言う議員さんも多くいますが、自分たちへのタブレット導入に対する検証はいつしますか？タブレットを持って市民に説明している議員さんを見たことがありません。これでは、検証はできませんよね。こんなに自分たちに甘い議員さんは減らしてください。	削減

No.	意見	区分
28	<p>議会を見ていると「市民合意ができているのか？」という議員さんが多いですが、議員さんが「市民合意ができているのか？」と言うのは、【市民意見聴取用資料】にある二元代表制の主旨と矛盾していると感じます。市民全員に合意をとることは難しいため、選挙で選んだ人たちで議論を重ねて市政を進める方法が二元代表制だと思います。「市民合意ができているのか？」という事は議員の仕事を放棄して、行政に市民全員への合意を求めている事になると思います。「市民合意ができているのか？」という議員さんは自分には議員の仕事ができないと主張しているのですから、そのような議員さんはいらないと思います。なので、議員さんを減らして下さい。</p>	削減
29	<p>議会議員定数のあり方については、現在各市町村でも問題になっており、削減するのか増員するのか検討している自治体が多いと思います。 しかしこれらの自治体は、人口減少に基づく市民数等の減少により議員経費の削減を求められている自治体が多いとのことです。 三島市においては、まだそこまでは、いっていないと思いますが、近々議員数減少は求められると思います。 減員をするときの反対理由の大半が、「議員の業務が多忙になり民意が反映されない」ということが大きな理由になりますが、現状を見れば、三島市の議員の多くは自営の仕事を抱え、会社に勤め、議員活動を専業にしている方がどれだけいるのか市民には見えません。 又、大企業のお抱え議員、政党所属議員もおられると聞いています。議員としての日常の活動は見えないのです。 どこかの市町村か外国か忘れましたが、市議会を夜間開催し又議員歳費を日給月給にして働いた分にすれば、議員定数は現状のままとし、それができないのなら現状より1名減員し、議員活動の状況を確認して再度減員について検討を加えるのがよいと思います。 議員の定員については、現在の国会のように衆議院、参議院ともに多すぎであることで、国民の意思が逆に反映されていない場合があると思います。 議員一人一人の考えが大人数の中では埋没してしまい活動が見えなくなり国民の意思は反映できなくなりました。 議員定数をどのようにするのかは三島市民の政治意識がどの程度あるかにかかってきます。 政治意識が高ければ少人数で、意識がなければ大人数で話し合い決定しなければ方向性を誤ると思います。 減員だけでなく、適切な人数をお決めいただきたい、</p>	その他
30	<p>常に市民と直接意見交換できる市町村議会の議員定数の削減は議会機能を低下させる大きな要因の1つです。歴史的に見ても選挙の前に、毎回ですが、議会改革と称して議員定数削減を持ち出すのは二元代表制の地方自治において市民のための議員活動や議会活動の重要性があまり理解されていない時代の選挙パフォーマンスにしかみえません。令和の時代、市民を馬鹿にしているとしか思えません。選挙活動は普段から地道にやってください。</p>	その他
31	<p>定数が削減となった場合に議会運営に支障がでないのか（先々の次期議員のことを踏まえたうえで）。</p>	その他
32	<p>定数削減の立場の意見に対して、現状維持の立場の意見は非常に抽象的であると感じました。議会としての監視機能や多様性のために数が必要だと言うのであれば、増員を希望したらいかがでしょうか？仮に現状維持だとしても、現状が十分であることも説明できると思えません。共産党の意見の中で、行政のスリム化と議会のスリム化を同列視すべきでないのご意見がありましたが、スリム化の手段は異なったとしても、行政と議会は両輪の関係だと思えます。どちらかのバランスを崩すようなご意見をお持ちの方が議員を務めていることが残念でなりません。</p>	その他
33	<p>議員が少ないと、政治が身近に感じないと思います。人口減少はあるが、高齢化が進めば、逆に行政の助けが必要になる人が増えるのでは。</p>	その他

三島市議会の議員定数のあり方について 意見提出用紙

【提出者ご自身について】（差し支えない範囲でご記入ください。）

住所	
氏名	

【ご意見について】

資料をご覧いただいた上で、三島市議会の議員定数（現在 22名）のあり方について、あなたのご意見をお聞かせください。

- ご意見の募集期間：令和 4 年 8 月 1 日（月）～令和 4 年 8 月 22 日（月）正午（期間内必着）

- ご意見の提出方法

- ① ホームページからの電子申請 <https://logoform.jp/form/pqff/122143>
- ② 電子メール gikai@city.mishima.shizuoka.jp
- ③ FAX 055-983-2601
- ④ 郵送 〒411-8666 三島市北田町4番47号 三島市議会事務局あて
- ⑤ 持参 三島市北田町4番47号 三島市役所本館3階 議会事務局
（平日 8:30～17:15 のみ受付）



- いただいたご意見につきましては、個人が特定されない形で取りまとめの上、概要を市議会ホームページ等で公表する予定です。